科目名	42．診療過程に伴う技術				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	診療の補助に必要な知識と技術を習得することができる				
到達目標	1）診療過程に関わる看護の基本技術を行う上で、対象に及ぼす身体的・心理的苦痛を踏まえ、安全・安楽に配慮した診療過程に伴う技術を習得することができる 2）安全で安楽な技術を習得するために自己課題に計画的に取り組もうとしている				
評価方法	筆記試験（80点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（20点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	診療過程に伴う技術は、対象者に対して安全・安楽・正確に実施する必要があり、技術の根拠を理解することが重要となります。 講義・演習では事前学習が必要であり、それをもとにグループで検討することを重視します。また、演習では学生間で患者役・看護師役を交代しながら学習し、「あとは自己学習（練習）すれば技術習得できる」ことを目指し、自己学習（練習）のポイントをつかみましょう。特に注射針や無菌物を取り扱う看護技術は、演習の時間内でしか体験できないので、演習用紙やチェックリストで自己評価・他者評価し、自己の技術の完成度を高められるよう取り組んでください。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	看護師の役割と責務	診療に伴う看護師の役割と責務 診療過程における看護援助を安全・安楽・正確に実施することの重要性	講義 演習
2	感染防止の技術①	医療器材の再生処理（洗浄・消毒・滅菌） 無菌操作	講義
3	感染防止の技術②	針刺し事故防止 感染性廃棄物の取り扱い 医療施設における感染管理	講義

4	感染防止の技術③	無菌操作	演習 (実習室)
5	症状・生体機能管理技術	症状・生体機能管理の目的と看護師の役割 検体検査 生体検査	講義 演習
6	検体検査①	検体検査(尿・便、喀痰、血液)の目的・方法（検体の取り扱い）	講義 演習
7	検体検査②	静脈血採血	講義 演習
8	検体検査③	静脈血採血	講義 演習
9	検体検査④	静脈血採血	演習 (実習室)
10	検体検査⑤	検査・処置の介助	講義 演習
11	苦痛の緩和	罨法の基礎知識と援助の実際	演習 (実習室)
12	呼吸を整える技術①	酸素吸入療法の基礎知識 排痰ケアの基礎知識	講義 演習
13	呼吸を整える技術②	一時的吸引（口腔・鼻腔・気管内吸引）	講義 演習
14	呼吸を整える技術③	一時的吸引（口腔・鼻腔・気管内吸引）	演習 (実習室)
15	検体検査⑥	診療過程に伴う技術のアセスメント	講義 演習